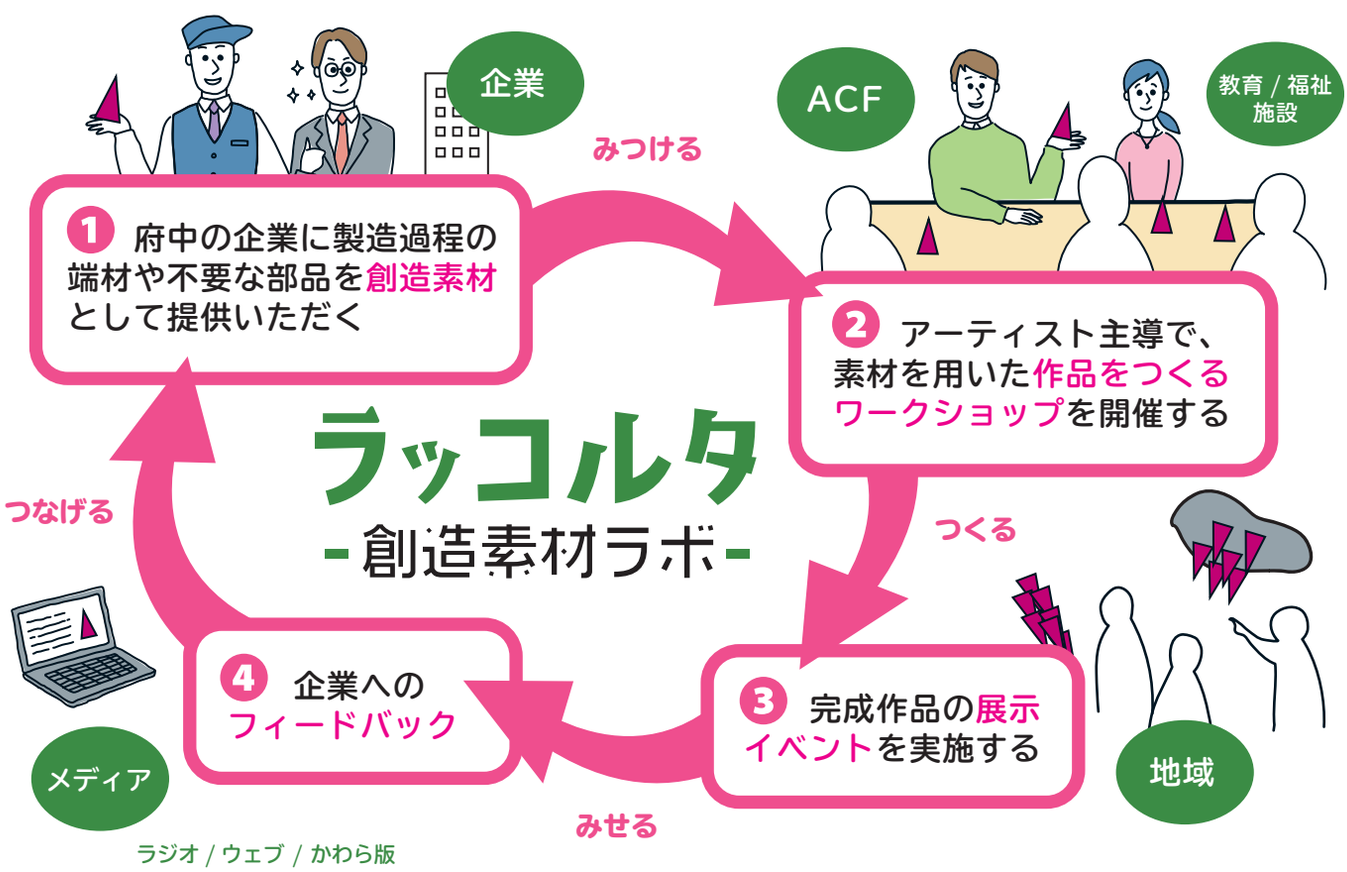
ラッコルタ
-創造素材ラボ-

地域企業と生涯学習をつなぎ、
モノとコトの循環と 新たな視点をもたらす仕組みづくり

モノを介在した 地域の出会いと繋がり。
アートの視点を通した新たな発見。
視点を変えると、意味が変わり、価値が変わる。

NPO 法人 **アーティスト・コレクティヴ・フチュウ [ACF]** は、**府中市**の文化生涯学習課と**市民提案型協働事業「ラッコルタ - 創造素材ラボ -」**を始めます。地元企業に不要な部材を提供していただき、それらを表現のための**創造素材**として新たに活かす仕組みづくりです。**アーティスト主導のワークショップ**を通じて、子供や大人が素材から発想した 表現活動に取り組む予定です。環境を意識したリサイクルにとどまらず、**身近にあるモノを違う視点から捉える機会**を与える ことを重視しています。不要になったモノが創造的な学習を通じて有用な教材となり、またそれが人を育てる媒介ともなっていくようなプロジェクトを目指します。



創造表現の素材を地域ぐるみで供給する仕組みづくり

創造素材ご提供**企業のメリット**

❶ 地域貢献

- 会社の業務や取組みを地域の人に知ってもらう。
- 新たな出会いがもたらされ、ローカルな繋がりが助長される。

❷ 創造活動の支援

- 地域のこどもやおとなの創造学習を支援する。
- **教育、福祉、生涯学習**の現場に**地域企業**として参加する。

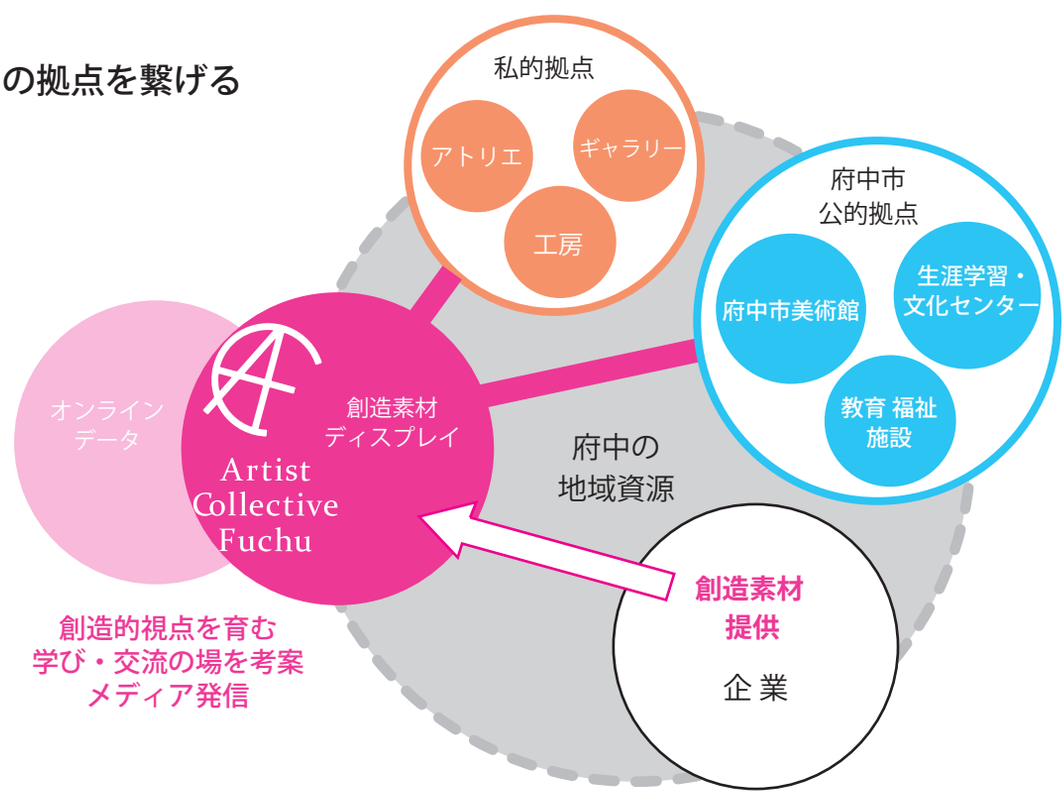
❸ 視点の転換

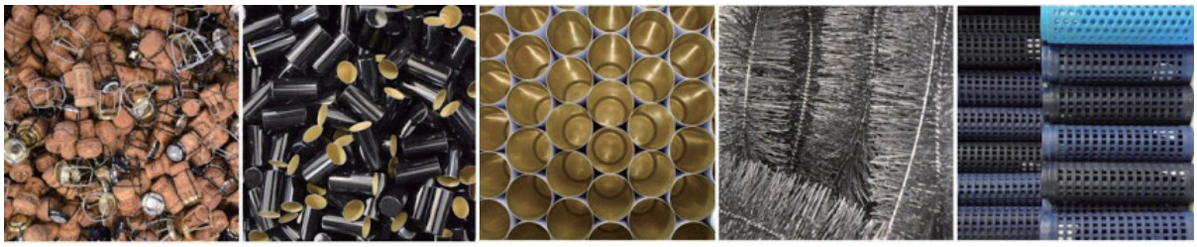
- 廃棄されるはずのモノが、多様な人の手に渡ることによって、**不要から有用へ**転換されるプロセスを共有できる。
- 視点が変わり、**モノの意味や価値の変化**により、**新たな発想**につながる。
- **SDGs**（持続可能な開発目標 4/11/12）への参画。

想定外の未来を生き抜くためにも、今、柔軟で創造的な思考が求められています。
ローカルなモノ・コト・ヒトの循環、そして暮らしの中での「表現」を促進するために、
府中市や東京都の自治体と組んで当プロジェクトを進めていきます。

私たち ACF は、今まで培ってきたネットワークを活かし、地域の公的私的な場を繋げながら、
創造と発想についての学びの機会を増やしていきたいと考えています。

府中の拠点を繋げる





プロジェクト名の由来：**「RACCOLTA ラッコルタ（イタリア語）」は、「収穫、作物、収集」を意味します。「収穫」のため人々が集まり、そこから「収集、集会」などの意味が生じました。古語として「歓迎」の意味にも使われたそうです。**

Artist Collective Fuchu

NPO 法人 アーティスト・コレクティヴ・フチュウ [ACF]：

2015 年活動開始、2018 年より NPO 法人化。東京都府中市を中心に、「表現」や「アート」に関心のある人々が集まるネットワークです。地域とアートの懸け橋となるようなプロジェクトを実現し、「誰もが自由に表現できるまち」を目指しています。
https://acf-tokyo.com/

「ラッコルタ - 創造素材ラボ -」は、**令和 3-4 年度市民提案型協働事業**として、**府中市**の生涯学習課との協働から始動しました。